

適用規格					
定 格	使用温度範囲	−40℃～+90℃ (90%RH MAX)	保存温度範囲	−40℃～+90℃ (90%RH MAX)	
	電 力	— W	特性インピーダンス	50Ω (0～ $\triangle$ 8 GHz)	
	特 殊 性	—	適合ケーブル	—	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構造	外観, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		—	—
電 氣 的 性 能	接 触 抵 抗	100mA (DC OR 1000 Hz) 以下で測定する。	中心コンタクト 14 mΩ以下	○	○
			外部コンタクト 14 mΩ以下	○	○
	絶 縁 抵 抗	DC 100Vで測定する。	500 MΩ以上	○	○
	耐 電 圧	AC200Vの電圧を1分間印加する。(漏洩電流2mA以下)	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○
	電 圧 定 在 波 比 $\triangle$	周波数 0.045 ～ 6 GHzにて測定する。	V SWR 1.3 以下	○	—
		周波数 6 ～ 8 GHzにて測定する。	V SWR 1.4 以下		
機 械 的 性 能	挿 入 損 失	周波数 — ～ — GHzにて測定する。	— dB以下	—	—
	コンタクトゲージ のゲージ保持力	$\phi 0.9525^{+0.0025}_0$ のオーバースイズゲージを 3回嵌合後、下記ゲージを使用して測定する。 挿入力ゲージ： $\phi 0.9398^{+0.0025}_0$ 引抜き力ゲージ： $\phi 0.9017_{-0.0025}$	挿入力 8.9 N以下	○	○
			引抜き力 0.3 N以上	○	○
	総 合 挿 抜 力	適合コネクタで測定する。	差込力 — N以下 引抜き力 — N以下	—	—
	繰 り 返 し 動 作	500回の抜き差しを行う。(HRM側) 30回の抜き差しを行う。(U.FL側)	① 接触抵抗： 中心コンタクト 21 mΩ以下 外部コンタクト 21 mΩ以下 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐 振 性	周波数 10 ～ 100 Hz, 片振幅 1.5 mm, 加速度 59 m/s ² で 3軸方向各 5 サイクル 試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐 衝 撃 性	加速度 735 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3 軸両方向各 3 回試験する。		○	—
	ケーブルクランプ 部の引っ張り強度	— N以下の引張力をケーブル軸に加える。	① ケーブルの抜けや断線等のないこと。 ② クランプ部の破損がないこと。	—	—
環 境 的 性 能	耐 湿 性	温度 +40℃, 湿度 95 %中に — サイクル (96 時間) 放置する。	① 絶縁抵抗: 100 MΩ以上 (高湿時) ② 絶縁抵抗: 500 MΩ以上 (乾燥時) ③ 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	温 度 サ イ ク ル	温度 −40 → 15-35 → +90 → 15-35℃ 時間 30 → 3 → 30 → 3 分 を 5 サイクル試験する。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	塩 水 噴 霧	濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。	はなはだしい腐食がないこと。	○	—
	$\triangle$ の数	訂正記事	設計	検図	年月日
$\triangle$	2	DIS-D-00004891	NK. NINOMIYA	TS. NOBE	20200428
備考			承認	I.J. MITANI	20061107
			検 図	KY. SHIMIZU	20061107
			担 当	MT. KANEKO	20061107
			製 図	MT. KANEKO	20061107
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。					
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目		図番	SLC4-310814-01		
HS	製 品 規 格 表		製品名	HRMJ-U.FLJ-PC(01)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL311-0411-3-01	$\triangle$ 1/1